

## ■チェスキークロムロフ

研修旅行の二日目、プラハからバスで三時間程度揺られチェスキークロムロフに着いた。自分がこの旅行で最も楽しみにしていた街の一つである。それは、この街が本当に中世ヨーロッパにトリップしたという雰囲気を感じさせてくれそうだったからである。

まず、お城の見学をするため丘の上に登っていく。そこから見た街の景色はまさに絵はがきのような光景。朝もやのかかった景色はとても美しい。建物の屋根は全て朱色で統一され、街の間を流れるモルダウ川もその美しさをより一層際立たせる。まさに中世ヨーロッパの雰囲気そのままである。街づくりの感覚というか意識が日本より遥かに高いのだろう。でなければ、ここまでまとまりのある街というのはそうそうできないのではないか。まさに世界遺産である。

街の中に入ると観光客向けのお土産屋ばかりだったのは少し寂しかったが、これかもこの街並みだけは大切に保存して行ってほしい。

